

楽しむ ユニバーサルスポーツ 広める

中村区でボッチャや
卓球バレーなど体験



ボッチャを楽しむ参加者＝中村区役所で

ユニバーサルスポーツについて「誰もが楽しめるように、皆で一緒に方法を考えるのも大切だ」などと説明した。

あいちボッチャ協会の荒賀博志副会長の指導を受け、参加者はボッチャを体験。新聞紙の上にボールを多く乗せられるように、緩急をつけてボールを投げた。他にフライングディスクや卓球バレーも楽しんだ。

地域交流のサークルに所属する愛知大三年の

は「身の回りにあるものでスポーツを楽しむことに魅力を感じた。アイデア次第でももしろい競技ができそうなので、大学内でも広めていきたい」と話した。
(坂本圭佑)

年齢や障害の有無、性別に関わらず楽しめる「ユニバーサルスポーツ」の講習会が、中村区役所であった。同区のスポーツ推進委員や住民ら約六十人が、東京パラリンピックの正式種目にもなったボッチャなどを体験した。

同区スポーツ推進委員連絡協議会や名古屋市などが企画し、今月七日に実施された。日本福祉大スポーツ科学科の児玉友准教授がユ